

「Hi, friends! 2」と「Sunshine 1」の関連

月	単元名 (時数)	単元目標	活動例	表現例一語彙例	中学校との関連 (Sunshine 1)
4	単元名 Lesson 1 Do you have "a" ? ~ アルファベットクイズを作ろう ~ 言語文字 (4)	・積極的にある物を持っているかどうかを尋ねたり答えたりしようとする。 ・31~100の数の言い方やアルファベットの小文字、あるかどうかを尋ねる表現に慣れ親しむ。 ・世界には様々な文字があることを知る。	◆世界には様々な文字があることや、31~100の数の言い方を知る。 【Let's Play】 「動物の数を数えよう」 ○「教室の中の物を数えよう」 【Let's Chant】 チャンツ "How many penguins?" 【Let's Listen】 「どの動物を表す文字か、考えよう」 ○「アルファベットの小文字と大文字をつなげよう」 ◆アルファベットの小文字とその読み方とを一致させる。 【Let's Chant】 チャンツ "How many penguins?" ○「ミッシングゲーム1」 【Let's Chant】 チャンツ "A, B, C" ○「アルファベットの小文字をならべよう」 ○「ラッキーカードゲーム」 ○「伝言ゲーム1」 ◆アルファベットの小文字とその読み方とを一致させるとともにあるかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 【Let's Chant】 チャンツ "How many penguins?" 【Let's Chant】 チャンツ "A, B, C" ○「Make pairsゲーム」 【Activity 1】 「見たことがあるアルファベット表示を書き写そう」 ○「選んだアルファベット表示を予想しよう」 ◆積極的にあるかどうかを尋ねたり数を数えたりしようとする。 【Let's Chant】 チャンツ "How many penguins?" 【Let's Chant】 チャンツ "A, B, C" ○「ゴーフッシュゲーム」 【Activity 2】 「見つけたアルファベットを、クイズ形式で紹介しよう」	Do you have "a"? Yes, I do. / No, I don't. アルファベット a ~ z do, you, I, have, yes, no, don't, one ~ thirty, forty, fifty, sixty, seventy, eighty, ninety, one hundred,	◆ Program 1 アルファベット ◆ ① アルファベットになれよう 【大文字】 A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K, L, M, N, O, P, Q, R, S, T, U, V, W, X, Y, Z 【小文字】 a, b, c, d, e, f, g, h, i, j, k, l, m, n, o, p, q, r, s, t, u, v, w, x, y, z ② アルファベットが表す音を聞いてみよう apple, cake, bag, cat, city, dog, egg, evening, fish, girl, giant, house, Internet, ice cream, juice, key, lion, milk, name, orange, nose, pen, quiz, room, sun, tennis, uncle, uniform, volleyball, watch, six, yellow, zoo ③ アルファベットを書こう 【大文字】 A to Z, ◆ Word Web 1 もの言い方 ◆ ① 英語の数 ② 数字を含む表現 年齢, 電話番号, 値段, 西暦 【数0~21, 30, 40...90, 99, 100, 101, 122, 200, 999, 1000】 zero, one two, three, four, five, six, seven, eight, nine, ten, eleven, twelve, thirteen, fourteen, fifteen, sixteen, seventeen, eighteen, nineteen, twenty, twenty-one, thirty, forty, fifty, sixty, seventy, eighty, ninety, ninety-nine, one hundred, one hundred (and) one, one hundred (and) twenty-two, two hundred, nine hundred (and) ninety-nine, one thousand 【年齢, 電話番号, 値段, 西暦】 I'm 12 [13]. 5364-7209 3,450 yen, 1 dollar, 2012 2008 【小文字】 a to z ◆ Program 3 ウッド先生がやってきた ◆ ① 自分の好きなことや、ふだんすることを言えるようにしよう 【一般動詞 (肯定)】 speak, have, like I like music. I like music too. I play the piano. I'm new here. I like music very much. 【教科名】 math, Japanese, English, science, social studies, music, P.E., fine arts 【国名, 言語名】 English, French
<連携のポイント> 小学校では、ある物を持っているかを尋ねたり答えたりする簡単な表現やアルファベットの小文字とその読み方を一致させる学習を、ゲームなどを通して楽しく行わせる。中学校では、生徒にとって難易度の高い小文字の導入に当たり、小学校での教材や小学校で経験した活動を生かして取り組ませたい。音声から文字への橋渡しをていねいに行っていきたい。					
5	Lesson 2 When is your birthday? ~ 友達の誕生日を調べよう ~ 行事 月 日付 (4)	・積極的に誕生日を尋ねたり、誕生日を答えたりしようとする。 ・英語での月の言い方や、誕生日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・世界と日本の祭りや行事に興味をもち、時期や季節の違いに気付く。	◆日本の季節の行事や特徴を伝え、月の言い方を知る。 【Let's Play 1】 「日本の行事と月を線で結ぼう」 ○「キーワードゲーム」 【Let's Listen 1】 「世界の行事と月を線で結ぼう」 【Let's Chant】 "Twelve Months"	When is your birthday? My birthday is March eighteenth. when, is, your, birthday, my, January, February, March, April, May, June, July, August, September, October, November, December, 序数 (自分の誕生日) thirty, forty, fifty, sixty, seventy, eighty, ninety, one hundred penguin, bird, monkey, bear, panda, tiger, elephant, giraffe	◆ Word Web 3月の名前と順番を表す言い方 ◆ 【月の名前と序数】 What's the date today? It's October 11. My birthday is April 23. How about you, Mai? January, February, March, April, May, June, July, August, September, October, November, December first, second, third, fourth, fifth, sixth, seventh, eighth, ninth, tenth, eleventh, twelfth, thirteenth, fourteenth, fifteenth, sixteenth, seventeenth, eighteenth, nineteenth, twentieth, ... thirty-first ◆ Program 7 Dilo the Dolphin ◆

「Hi, friends! 2」と「Sunshine 1」の関連

月	単元名(時数)	単元目標	活動例	表現例一語彙例	中学校との関連(Sunshine 1)
6			<p>◆日にちの言い方を知り、自分の誕生日の言い方に慣れ親しむ。 【Let's Chant】"Twelve Months" ○「ミッシングゲーム」 【Let's Play 2】 「日付と何の日かを書こう」 ○「誕生日を言ってみよう」 ○「ステレオゲーム」</p> <p>◆誕生日の尋ね方や答え方に慣れ親しむ。 【Let's Chant】"Twelve Months" 【Let's Listen 2】 「誕生日はいつか、線で結ぼう」 ○「カレンダービンゴ」 ○「誕生日の友だちを探そう」 ○「バースデーカードを交換しよう」</p> <p>◆積極的に自分や相手の誕生日について尋ねたり答えたりする。 【Activity】 「友だちの誕生日を調べよう」 ●友だちの誕生日はいつか、友だちの名前と日付を書こう。</p> <p>○「誕生月カレンダーを作ろう」</p>		③物事を行う時をたずねられるようにしましょう。 When do you usually visit the library? On Saturday afternoon.
<p><連携のポイント> 月や曜日、季節などの表現は、児童生徒にとって身近で大切な内容である。小学校では、自分や友達の誕生日を尋ねたり答えたりする活動を繰り返し行い、その表現に慣れ親しませる。その学習を踏まえて中学校では、「聞く」「話す」力に加えて、「書く」力へと発展させていく。</p>					
6	Lesson 3 I can swim. ～できることを紹介しよう～ スポーツ動作 (4)	・積極的に道を尋ねたり、道案内しようとする。	<p>◆「できる」「できない」や動作を表す表現を知る。 ○「できること・できないことを聞こう」 【Let's Play 1】 「ポインティングゲーム」～どこにあるかわかるかな? ○「ジェスチャーゲーム」 【Let's Listen 1】 「どんなことができるか、できることは○で、できないことは△で囲もう」</p> <p>◆「できること」や「できないこと」を尋ねたり答えたりする表現を知る。 【Let's Play 1】 「ポインティングゲーム」 【Let's Play 2】 「Who am I?クイズ」を作ろう 【Let's Chant】 チャンツ "Can you swim?" 【Activity 1】 「友だちのできること・できないことを予想してインタビューしよう」</p> <p>◆「できること」「できないこと」を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむとともに人それぞれに違いがあることを知る。 【Let's Chant】 チャンツ "Can you swim?" ○「Who am I?クイズ」 ○「○×クイズ」 【Activity 2】 「サインをもらおう」 ○「自分ができていることを書いて紹介しよう」</p> <p>◆自分ができていることを考え、友達と積極的に交流しようとする。 【Let's Chant】 チャンツ "Can you swim?" 【Activity 3】 「自己紹介をしよう」</p>	I can/ can't swim. Can you cook? Yes, I can. /No, I can't. can, can't (can not), play, swim, cook, ride, unicycle, table tennis, badminton, basketball, soccer, baseball, recorder, piano, a, the	<p>◆ Let's Start ◆ 3 自分のことを言ってみよう。(できる、できない)</p> <p>◆ Program 8 Origami ◆ ① できることを言えるようにしましょう 【can 肯定文】 Ted speaks Japanese well. Yes. He can read kanji too. member, learn, animal, ski, dance, knit, cook, sing, an English song, make curry ② できることをたずねたり答えたりできるようにしよう 【can 疑問文】 Can you ski? Yes, I can. /No, I can't. difficult, What about? Here you are. be good at, ski, skate, bowl, dance, cook, run fast, knit, do a handstand, do magic</p>
7					
<p><連携のポイント> 「できる」「できない」の表現を学ぶことで、互いの理解を深めることができる。また、友達と自分との違いを知り、それを認め合う中でよりよい友達関係を築くことができる。小学校では、クイズやゲーム、チャンツを通して、楽しく表現に慣れ親しませる。中学校では、小学校の活動を取り入れながら、より豊かな表現へと高めていく。</p>					
9	Lesson 4 Turn right ～道案内をしよう～	・積極的に道を尋ねたり、道案内しようとする。	◆町中にある様々な建物などの言い方に興味をもち、理解しようとする。	Where is the station? Go straight.	◆Program 5 国際フードフェスティバル◆ ②どこにあるのかをたずねられるようにしましょう

「Hi, friends! 2」と「Sunshine 1」の関連

月	単元名(時数)	単元目標	活動例	表現例一語彙例	中学校との関連(Sunshine 1)
10	建物 道案内 (4)		<p>○「何の建物か考えよう」 【Let's Play】 「おはじきゲーム」 ○「メモリーゲーム」 【Let's Listen】 「どこに行くのかを書こう」 【Let's Chant】 “Where is the station?”</p> <p>◆方向や動きを指示する表現を聞いて、理解する。 ○「何の建物か考えよう」 ○「サイモンセズゲーム」 【Let's Chant】 “Where is the station?” ○「仲間探しゲーム」</p> <p>◆方向や動きを指示する英語を使って、相手に目的地を伝える。 【Let's Chant】 “Where is the station?” ○「サイモンセズゲーム」 ○「地図を作ろう」 ○「ペアで道案内をしよう」 【Activity】 「ペアで時報を伝え合いながら、同じ町を作ろう」</p> <p>◆相手意識をもって道を尋ねたり、道案内をしたりしようとする。 【Let's Chant】 “Where is the station?” ○「ペアで地図を作ろう」 ○「友だちを案内しよう」</p>	<p>Turn right /left. turn, right, left, go, straight, stop, to, where, park, school, flower shop, hospital, bookstore, restaurant, supermarket, fire station, police, convenience, department, post, office, station,</p>	<p>【Whereの疑問文】 Where is my key? It's on the table. on the desk, under the desk, by the desk computer, desk, near, big, three, those, they, beautiful, there</p> <p>◆ 2年 Speaking 2 ◆ 【道案内】 How can I get to the station? Go straight and turn left at the third corner.</p>
<p><連携のポイント> 国際化が進む現代社会においては、実生活においても、外国人に道を説明したり尋ねたりする機会が増えてきている。小学校では、簡単な表現を使った道案内を体験することで、建物の名前や外国の街への興味・関心を高めることができる。中学校では、より具体的な道案内の仕方を学び、正確に情報を伝えることの大切さを実感させる。</p>					
10	Lesson 5 Let's go to Italy. ～友達を旅行にさそおう～ 世界の国々 世界の生活 (4)	<p>・自分の思いがはっきり伝わるように、おすすめの国について発表したり、友達の発表を積極的に聞いたりしようとする。 ・行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。 ・世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。</p>	<p>◆世界では、様々な人々が様々な生活をしていることを知り、世界に興味をもつ。 【Let's Play 1】 「()に国名を書こう」 【Let's Listen 1】 「どの国の世界遺産か考えよう」 【Let's Listen 2】 「国旗クイズ」を作ろう」 ○「先生の行きたい国はどこかな？」 ○「キーワードゲーム」</p> <p>◆行きたい国を尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>○「ミッシングゲーム」 ○「キーワードゲーム」 ○「ステレオゲーム」 ○「ラッキーカードゲーム」 【Let's Chant】 チャンツ “Let's go to Italy. ”</p> <p>◆行きたい国を尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。 【Let's Chant】 チャンツ “Let's go to Italy. ” ○「メモリーゲーム」 【Let's Play 3】 「友だちに行きたい国を、インタビューしよう」 【Let's Listen 2】 「わかったことを書こう」 【Let's Chant】 チャンツ “Let's go to Italy. ” 【Activity】 「おすすめの国を紹介しよう」</p> <p>◆相手にはっきり伝わるように自分の行きたい国とその理由を伝えようとする。 【Activity】 「おすすめの国を紹介しよう」</p>	<p>I want to go to France. Where do you want to go? Let's go. I, you, do, hike, want, to, go, where, play, see, eat, Italy, Japan, China, Korea, Brazil, Egypt, Australia, France, India, America, Spain</p>	<p>◆2年Program 6 A Work Experience Program ◆ ① 自分のしたいことが言えるようにしよう What are your plans for the future? I want to be a doctor. Do you want to help sick people? Yes. Especially sick children.</p>
11					
<p><連携のポイント> メディアが発達し、世界のニュースや状況をリアルタイムで知ることができる現在、児童生徒にとって世界が身近になってきている。小学校では、自分の行きたい国について調べ、世界の国々についての興味・関心を高めるとともに、自分の思いを相手に伝える大切さに気付かせる。中学校では、つまづきも起きやすい不定詞との関連を図り、小学校での学びを想起させながら取り組ませたい。</p>					

「Hi, friends! 2」と「Sunshine 1」の関連

月	単元名(時数)	単元目標	活動例	表現例一語彙例	中学校との関連(Sunshine 1)
11	Lesson 6 What time do you get up? ～一日の生活を 紹介しよう～ 世界の国々 世界の生活 (5)	・積極的に自分の一日を紹介したり、友達の日を聞き取ったりしようとする。 ・生活を表す表現や、一日の生活についての時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。 ・世界には時差があることに気づき、世界の様子に興味をもつ。	◆生活を表す表現や、時刻の言い方、尋ね方を知る。 【Let's play 1】「ナンバーゲーム」 ○「何時か当てよう」 【Let's listen 1】 「何時かな? 時計に針や数字を書こう」 【Let's Play 2】「おはじきゲーム」 ○「ジェスチャーゲーム」 【Let's Chant】 “What time do you get up?”	I get up at seven. What time do you go to bed? I, you, do, get, up, eat, lunch, breakfast, dinner, take, a, bath, go, to bed, home, watch, clean, TV, play, piano, study, what, time	◆ Speaking 1 時刻をたずねる◆ 【時刻のたずね方】 What time is it? It's twelve o'clock. What time do you usually eat lunch? At twelve thirty. time, lunch, sure, morning, get up, get home, take a bath, go to bed
12			◆動作を表す言葉や時刻を表す表現に慣れ親しむ。 【Let's Play 1】「ナンバーゲーム」 【Let's Listen 2】 「()に時刻を書いて、さくらとあなたの一日を比べよう」 【Let's Play 2】「おはじきゲーム」 【Activity 1】 「先生の一日を予想して、インタビューしよう」 【Let's Chant】 “What time do you get up?”		
			◆一日の生活についての時刻を表す表現に慣れ親しむ、時差があることを知る。 【Let's Chant】 “What time do you get up?” 【Let's Listen 3】 「世界の時刻を口に書こう。地図の都市と線を線で結ぼう。」 ○「仲間探しゲーム」		
			◆一日の生活についての時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。 【Let's Chant】 “What time do you get up?” 絵カードを見ながらチャンツを言う。 ○「先生の1日を聞いて、ニューヨークの時刻とつなげよう」 ○「友だちの生活の時刻を聞こう」		
			◆相手に伝えるように自分の生活を紹介しようとする。 【Let's Chant】 “What time do you get up?” 【Activity 2】 「あなたの1日を紹介しよう」		
<p><連携のポイント> 日常生活の中で、時刻について表現する機会が多い。また、世界には時差があることを知ることで、世界への興味・関心を高めることができる。小学校では、ゲームやチャンツを通して楽しく動作や時刻を表す表現に慣れ親しむ。中学校では、小学校での学習を想起させながら、さらに過去形の表現などの学習へと深めさせていく。</p>					
1	Lesson 7 We are good friends. ～オリジナルの物語を作ろう～ 世界の童話 日本の童話 (6)	・積極的に英語で物語の内容を伝えようとする。 ・まとまった英語の話聞いて内容がわかり、場面にあったセリフを言う。 ・世界の物語に興味をもつ。	◆世界には様々な物語があることを知るとともに世界の物語に興味をもつ。 【Let's Play】 「だれがかくれているかさがそう」 【Let's Listen】 「お話を聞こう」1回目・2回目	We are good friends. We are strong and brave. peach, boy, monkey, dog, bird, friend(s), strong, brave, good, fine, happy, hello, let's (let, us), go, we, are, I, am, how, you, please, here, see, OK	◆Program 4 リサイクル活動◆ ①相手に何をするかをたずねたり答えたりできるようにしよう。 Sometimes we have a recycling day.
2			◆物語の筋がわかり、様子を尋ねたり表したり、行動するよう促す表現に慣れ親しむ。 【Let's Listen】 「お話を聞こう。」3回目・4回目 【Let's Chant】 チャンツ “We are good friends!” 【Activity】 「オリジナルの「桃太郎」をつくって演じよう」		
			◆様子を尋ねたり表したり、行動するよう促す表現に慣れ親しむ。 【Let's Listen 2】 「お話を聞こう」5回目 【Let's Chant】 チャンツ “We are good friends!” 【Activity】 「オリジナルの物語をつくって演じよう」		
			◆様子を尋ねたり表したり、行動するよう促したり、要求したりする表現に慣れ親しむ。 【Let's Listen】 「お話を聞こう」6回目 【Let's Chant】 チャンツ “We are good friends!” 【Activity】 「オリジナルの「桃太郎」をつくって演じよう」5・6時間目		

「Hi, friends! 2」と「Sunshine 1」の関連

月	単元名(時数)	単元目標	活動例	表現例一語彙例	中学校との関連(Sunshine 1)
			<p>◆積極的に英語を使って、考えた物語の筋を伝えたり聞こうとする。 【Let's Chant】 チャンツ “We are good friends!” 【Activity】 「オリジナルの「桃太郎」をつくって演じよう」 ①グループごとにオリジナルの「桃太郎」の発表の練習をする。 ②グループごとにオリジナル版「桃太郎」の発表をする。</p>		
<p><連携のポイント> 日本や世界の童話は、児童が幼いころより身近に親しんできており、興味・関心の高い話題である。英語で表現された童話を聞きとったり、オリジナルの童話を作ったりすることで、児童は、英語をより身近に感じることができるであろう。ここでは、中学生による童話の読み聞かせを行い、小学生と中学生の交流を図る。</p>					
2	Lesson 8 What do you want to be? ～「夢宣言」をしよう～ 職業 将来の夢 (4)	<p>・積極的に自分の将来の夢について交流しようとする。 ・どのような職業に就きたいかを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・世界には様々な夢をもった同年代の子どもがいることを知り、英語と日を通して、言語の面白さに気付く。</p>	<p>【Activity】 ◆様々な職業の言い方を知る。 ○「先生の夢は何か?」 ○「ジェスチャークイズ」 ○「ポイントティングゲーム」 ○「キーワードゲーム」 ○「ラッキーカードゲーム」</p> <p>◆様々な職業の言い方に慣れ親しみ職業を表わす語彙を通して英語と日本語の共通点に気付く。 ○「カード取りゲーム」 ○「ビンゴゲーム」 【Let's Listen】 「だれの夢か考えよう」</p> <p>【Let's Chant】 チャンツ “What do you want to be?” ○「ミッシング・ゲーム」</p> <p>◆将来就きたい職業について、答えたり、尋ねたりする。 【Let's Chant】 チャンツ “What do you want to be?” ○「ステレオゲーム」 ○「チェンゲーム」 【Let's Play】 「友だちに夢をインタビューしよう」 【Activity】 「あなたの「夢宣言」をしよう」</p> <p>◆世界にはその環境によって様々な夢をもつ同年代の子どもがいることを知り、相手意識をもって自分の夢を交流しようとする。 【Let's Chant】 チャンツ “What do you want to be?” ○「インタビューをしよう」 ○「Who am I? クイズ」 【Activity】 「あなたの「夢宣言」をしよう。三人の「夢宣言」を聞いてメモをとり、参考にしよう。」</p> <p>◆世界にはその環境によって様々な夢をもつ同年代の子どもがいることを知り、相手意識をもって自分の夢を交流しようとする。 【Let's Chant】 チャンツ “What do you want to be?” ○「インタビューをしよう」 ○「Who am I? クイズ」 【Activity】 「あなたの「夢宣言」をしよう。三人の「夢宣言」を聞いてメモをとり、参考にしよう。」</p>	<p>I want to be a singer. What do you want to be? I, you, what, do, want, be, a(an), teacher, doctor, pastry chef, farmer, florist, singer, firefighter, soccer player, attendant, vet, zoo keeper, comedian, baker, dentist, artist</p>	<p>◆2年Program 6 A Work Experience Program ◆ ①自分のしたいことが言えるようにしよう What are your plans for the future? I want to be a doctor. Do you want to help sick people? Yes. Especially sick children.</p> <p>◆ My Project 5 将来の夢を語ろう ◆ ◆ 巻末資料 10 いろいろな職業 ◆ chef, teacher, baker, firefighter, doctor, nurse, dentist, pianist, musician, singer, writer, florist, barber, beautician, announcer, newscaster</p>
3					
<p><連携のポイント> この時期の児童は卒業を間近に控え、中学校生活や未来に大きな希望をもっている。この時期に、将来の自分をイメージし、友達に自分の夢を語ることは有意義なことである。中学校では、小学校での学習を想起させ、職場体験学習などの経験を生かし、自分の夢についてより具体的に表現できるようにさせたい。</p>					